



超我の奉仕

2005～2006年度
国際ロータリーのテーマ
超我の奉仕

2005～2006年度
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：守谷 巖樹
幹事：鈴木 幹雄
会報委員長：長坂 邦雄
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL:052-211-3803
FAX:052-211-2623
MAIL:2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

▶ 第1250回例会

～R財団月間～

2005年11月17日(木) 晴 第18回

司会：(堀 慎治会場委員)
体操：ストレッチング(吉木洋二会場委員)
斉唱：「それでこそロータリー」
ゲストスピーカー：地区年次寄付委員会委員長 鈴木 哲氏
ビジター：東海RC 小嶋 洋一君
(伊藤 豪親陸活動委員長)

▶ 会長挨拶 守谷巖樹会長

バブル崩壊後、長年製造業の低迷が続きましたが、やっと上向きになったといわれています。私が関係する鍛造業も多忙になったものの、1990年の生産量245万トンピークを漸減しています。1998年には米国、ドイツに世界一の座を明け渡して閉塞状態にあります。政府の鍛造業に対する助成施策も、数年間停滞していましたが、ここに来て人材をめぐる現状の深刻さを痛感し、久しぶりの大型補助金のある施策が出ました。中身は産官学の連携による産業人材、特に中小企業の中核人材育成のための施策です。大学に専門職講座を設け、将来専門職大学院にまで発展させるという構想で、三年間は補助金を出しましょうという事です。私も、この中核人材育成事業構想実現計画案の作成のため、鍛造業界グループの代表となり、教育界グループの大学の先生方と、教育カリキュラム作成などに来年3月を目途に、鋭意取り組んでおります。



そこで政府の考えている人材をめぐる現状の深刻さとは何かを7項目に分けてみたいと思います。

1. 団塊世代の引退と「ものづくり力」の危機
 2. 若手人口の急減
 3. 教育訓練費の削減と労働生産性の停滞(企業の変化)
 4. OJT教育の困難化(人員削減、技術の短サイクル化)
 5. 中国との教育内容格差(大学が企業のニーズにできていない)
 6. 若者が中小企業を避ける
 7. 中国との人材格差による空洞化(中国人材豊富)
- 以上参考になれば幸いです。

▶ 幹事報告 鈴木幹雄幹事

- ・次週11月24日(木)13時35分から、指名委員会を9階「ことぶきの間」にて開催します。歴代会長の皆様、ご出席をお願い致します。
- ・指名委員会終了後、歴代会長・幹事ご出席の報告会は、14時30分から18時に変更し、「ろく」にて行います。ご出席の皆様のメールボックスに変更のご案内を入れてありますので、お間違いないようお願い致します。

▶ 出席報告 落合 諭出席委員長

会員75名 出席51名 (出席計算人数55名)
出席率74.55%

11月10日は補填により 98.18%
10月27日は補填により 98.18%
10月20日は補填により 98.18%

▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋西				12/22(木)
名古屋南			12/14(水)	
名古屋北			12/16(金)	12/23(金)※
名古屋東	11/28(月)			
名古屋守山			12/14(水)	
名古屋みなと			12/16(金)	
名古屋東南	11/30(水)			12/21(水)
名古屋中			12/12(月)	
名古屋和合		12/7(水)		
名古屋名東			12/13(火)	
名古屋名北			12/14(水)	
名古屋千種		12/6(火)	12/13(火)	
名古屋栄	11/28(月)◆			12/19(月)◆
名古屋名南				12/20(火)◇
名古屋名駅				12/21(水)
名古屋昭和				12/19(月)
名古屋西南		12/8(木)		
名古屋錦				12/20(火)
名古屋東山				12/22(木)
名古屋空港			12/12(月)	
尾張中央			12/14(水)	12/21(水)※
豊山一城北	11/29(火)※		12/13(火)	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。
◇はサイン受付時間が17:30～18:30となります。

▶ ニコボックス 宇佐美貞夫ニコボックス委員

・今日はロータリー財団の卓話をさせていただきます。有難うございます。今年も財団への寄付をよろしくお願い致します。

地区年次寄付委員会委員長 鈴木 哲氏

- ・今日は誕生月です。 入江 理君
- ・家内の誕生祝いのお花有難う。 森 真佐雄君
- ・11月10日は、妻の誕生日でした。 田中 英雄君
- ・今日は結婚記念日がありました。 高村 博三君
- ・11月1日は結婚記念日でした。 松波 恒彦君
- ・昨今、水谷由紀夫先生に大変ご厄介になっております。感謝。 橋本 章君

・(1)昨日のゴルフ会、天気にも恵まれたのにスコアは散々でした。高須さん、100たたきの会復帰おめでとう。

- (2)次男が11月誕生日でしたので。 稲葉 徹君
- ・11月13日のコンサート(パッパのカンタータ)は無事終了しました。有難うございました。 平野 好道君

委員会報告

国際奉仕委員会・加納裕委員長

本日メールボックスに、来年3月15日開催されます台北延平RC29周年式典に公式訪問への参加をお聞きするアンケートをお配りしました。11月24日までに事務局へお返事をお願い致します。

地区情報

遠山堯郎地区RAC委員長

以下の3会議に出席致します。

- ・11月17日(木)東尾張分区新世代委員会円卓会議
於：小牧コミュニティーホール
- ・11月20日(日)RAC名古屋ゾーン「ゾーン親睦」
於：ナディアパークデザインセンタービル6階
- ・11月27日(日)第16回アクターズミーティング
於：田原市赤羽根文化ホール・トレーニングセンター

卓話

地区年次寄付委員会委員長 鈴木 哲氏

「毎年あなたも100ドルを」

(「毎年あなたも100ドルを」DVD視聴)

ご覧いただきましたDVDにありましたように、財団の活動資金は色々なプログラムを通してさまざまな地域や国に使われております。私は、お手元にお配りしたパンフレットを用いて、身近な例を挙げながらお話ししたいと思います。皆様もご存じのように、財団の寄付には3つの寄付がございます。1つは年次寄付です。二つ目はベネファクターに代表されます恒久基金という寄付がございます。皆様から頂いた寄付を一旦プールし、運用をして得た利益を財団の活動資金に充てていくという基金です。3つ目はポリオプラスのように、用途を指定していく用途指定寄付というのがあります。お手元にあるパンフレットの表紙には、「EVERY ROTARIAN EVERY YEAR」とあります。これは2004年のRIの規定審議会で採択されたスローガンであります。そしてこの日本語の「毎年あなたも100ドルを」というスローガンは、本年度のロータリー財団第2760地区のスローガンでもあります。



パンフレットの中をご覧ください。こちらに年次寄付の内容がフローチャートで説明してあります。年次寄付といえますのは、「毎年あなたも100ドルを」という寄付と、「ポール・ハリス・フェロー」を指しております。これは先ほど説明しました恒久基金と違ひまして、3年後には教育的なプログラムや、人道的なプログラムに対して50%ずつDDF(地区財団活動資金)とWF(国際財団活動資金)に直接使用する事が出来る寄付です。昨年度は全体の3つの寄付の合計が約150億円有り、そのうちの90億がこの年次寄付の総額となっております。3つある寄付の中でも高いウェイトを占める寄付となっております。そして50%のDDF(地区財団活動資金)の中の20%が地区補助金となっており、クラブが直接使う事の出来る補助金となっております。地区補助金の用途ですが、地区親交のためや恵まれない人々のために使っていくという寄付であり、あくまでもロータリアンが主体的に行動するという事が求められております。また海外においても、補助金の使用は可能ですが、支援する国にRCがない事が前提となっております。昨年度は13のクラブに対しまして地区補助金が支給されました。そのうちの3つがパンフレットに紹介されておりますが、私の所属するみなとRCでは、映画「クイール」の鑑賞会を行いました。地域の子どもたちを招いて、盲導犬を触ったり、デモンストレーションを行うなどして、盲導犬の役割を学ぶ事が出来ました。当日は680名が参加し、そのうちの94%が「よかった」というアンケート結果を頂いております。

次にパンフレット右下にあります、国際親善奨学生の方ですが、こちらは各クラブで優秀な大学生をご推薦頂き、それを地区で選考・選出された学生を海外の教育機関へ送り出し、国民間の交流や文化の交流をしていくという主旨でございます。期間は3ヶ月、1年、2年の3種類の奨学生があります。裏を見て頂きますと、GSE(研究グループ交換)についての説明があります。GSEとはどういったものかと申しますと、4人の専門職を持った青年と、1名のロータリアンをメンバーとするチームを組みまして、それを2つの国で交換していく取り組みです。昨年度はカナダのエドモントンから4人の青年と1人のロータリア

ンが来ました。万博見学や各RCを訪問し、1ヶ月間日本で過ごしました。日本からは豊田西RCの方をリーダーとして、4人の青年がカナダのアルバータ州へ行きました。向こうのクラブでは地区大会に出席してデモンストレーションをしたり、ロータリアンの家庭にホームステイしたり、職場研修をしたりするなど、非常に充実した日々を送ってまいりました。彼らの帰国報告会を聞きますと、本当に成長した姿で帰ってきたと感じられました。私がクラブのローターアクト委員会の委員長をしていました時、かつてGSEメンバーであった青年がおりました。彼は帰国してすぐにローターアクトのメンバーになり、昨年度は会長として活躍しました。今は上海の大学で教鞭を執っておりますが、これもGSEでの経験の賜物ではないかと思っております。今ご説明しました国際親善奨学生やGSEを卒業しますと、「校友会」という組織が出来ます。後輩の指導をしたり、RCとも交流していく組織となっております。

話が前後致しますが、「マッチング・グラント」とはどういったものかと申しますと、2つ以上の国が協力し合って1つのプロジェクトをしていく制度となっております。これは1つの国が技術的、資金的な面や知識的な面で支援を求めており、それを支援していくという国があった場合、その2つの国で3名の委員会を作り、日本の事務室において申請を行います。最高15万ドルまで支援を受ける事が出来ます。こちらのクラブでは、ウガンダ共和国で素晴らしい活動をしていらっしゃるという事で、是非ともこのマッチング・グラントを使って、もっと大きな支援活動を行って頂きたいと思っております。

パンフレットの最後にある写真ですが、これは先ほど説明致しましたWF(国際財団活動資金)を使った例を紹介してあります。ケニアでは100ドルありましたら、子供2人分の1年分の教育費をまかなえます。また、タイやカンボジアでは500ドルあれば地雷などで足を失った方、12人分の義肢を作る事が出来ます。私たちの貴重な寄付が、この様な国々で10倍、20倍の価値となって使用されるのです。私は2年ほど前にラオスという国を訪れた事があります。首都のヴィエンチャンから車でジャングルの中を進む事9時間、貧しい少数民族の村がありました。家屋や学校は粗末な作りで、黒板が置いてあるだけのとても学校とは言えないような設備でした。病院もなく、電気も通っておりませんので、ろうそくや発電機を使っていました。1ヶ月の収入は20ドルという事でした。これから、WCSも支援活動を始める予定ですが、財団の支援の手をさしのべる事も出来るのではないかと考えております。

年次寄付委員会と致しまして、1人100ドルのご寄付をという事ですが、これは1人1人が100ドルという事であって、ポール・ハリス・フェローはまた別となっております。昨年度、瑞穂RCはポール・ハリス・フェローを含めて188ドルという素晴らしい実績を残されました。パンフレットにありますように、平均が96ドルとなっております。ですから倍近い数字を達成されたという事で、私がお話しする必要はないほど、トップクラスの成績であるのです。

最後になりますが、「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援する事です。」と書かれてあります。これがロータリー財団の使命でございます。そしてそれが具体的には教育的なプログラム、そして人道的なプログラムという事で、皆様がビデオを視聴し、パンフレットに書かれてありますように、色々な形で使われております。また地区補助金などを使っての活動も行って頂きたいと思ひますし、またご寄付も昨年度の188ドルをクリアして頂き、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクターも合わせてお願い申し上げたいと思ひます。

今週卓話

11月24日(木)

卓話講師：シャンソン歌手 児玉 たまみ様
テーマ：「語り・唄い・出会い」

次週卓話

12月1日(木)

会員卓話：亀井直人君
テーマ：「ウレタンについて」